

I. 横浜港・・・・・・・・横浜市

『赤レンガ倉庫創建 100 周年記念事業』

- ◆ 開催日 平成 23 年 4 月 12 日（火）～平成 24 年 3 月 18 日（日）
- ◆ 場 所 赤レンガ倉庫 イベント広場、1 号館、2 号館、
- ◆ 目 的 赤レンガ倉庫の成り立ちや、かつての貿易の拠点であった赤レンガ倉庫の役割などその歴史の深さ、赤レンガ倉庫創建 100 周年を PRするとともに、みなとみらい 21 新港地区のウォーターフロントのさらなる賑わいを創出することを目的とした。
- ◆ 展示内容
赤レンガ倉庫創建時の様子、新港ふ頭の他の上屋施設の様子、関東大震災で 1 号倉庫が被災した様子、戦時中の様子、物流の倉庫として使用されていた時の様子、港湾労働者の姿、倉庫として使用されなくなり静かに佇む様子、落書された赤レンガ倉庫、保存工事の様子、リニューアルオープンした赤レンガ倉庫、現在のみなとみらい 21 地区の航空写真など、新港ふ頭のこの 100 年を映した写真を中心に展示した。
- ◆ 開催概要
 - (1部) 日時：4月12日（火）～5月8日（日）
場所：赤レンガ倉庫 イベント広場
内容：横浜市港湾局所蔵や横浜開港資料館所蔵、写真家 森 日出夫氏所蔵の写真を36枚を展示。
 - (2部) 日時：10月21日（金）～10月24日（月）
場所：赤レンガ倉庫1号館2階
内容：横浜市港湾局所蔵や横浜開港資料館所蔵、写真家 森 日出夫氏所蔵の写真を54枚を展示する。
 - (3部) 日時：11月15日（火）～平成24年3月18日（日）
場所：赤レンガ倉庫2号館 通路壁面・エレベーター前などの共有スペース
内容：横浜市港湾局所蔵や横浜開港資料館所蔵、写真家 森 日出夫氏所蔵の写真を62枚を展示する。
- ◆ 感想等 年間を通して赤レンガ倉庫への来館者数は約580万人、前年度比約114%でありました。2011年3月の震災の影響があったことも考慮すると、今回のようなイベントを行うこと等で入館者数の減も最小限に抑えられたのではないかと考えている。
また、すべて無料イベントとして実施したことで、より多くの来館者

の方々に歴史写真を通して、赤レンガ倉庫の成り立ちや、当初の役割、時代の変遷等、その歴史を感じていただけたのではないかと感じている。さらに、赤レンガ倉庫創建100周年についてより多くの来館者にPRすることができ、みなとみらい21新港地区のウォーターフロントのさらなる賑わい創出に寄与することができたものと思っている。



写真展の案内表示 (他の写真展も同時開催)



1号館2階での展示会の様子



2号館2Fでの展示会の様子



通りすがりに見ていく人々



エレベーター前に展示

以下、展示した写真の一例



竣工時



関東大震災で被災した1号館



倉庫として使用されていた様子



落書された赤レンガ倉庫



現在の赤レンガ倉庫



赤レンガ倉庫とコンテナ